

45. 博物館ネットワークによる未来へのレガシー継承・発信事業

概要

平成30年度予算案額：31百万円

2019年ICOM京都大会や2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、博物館による日本の魅力発信と地域活性化を図る観点から、複数の博物館により構成される博物館コンソーシアムによる共同展示や共同研修、多言語による情報発信等の取組を促進する。

●**対象者** 博物館又はその設置主体、複数の博物館により構成する実行委員会 等

- 対象事業**
- (1) 博物館コンソーシアムによる魅力発信、地域活性化
 - 複数の博物館が連携し、個々の博物館では成し得ない以下のような取組を実施することにより、博物館による魅力発信と地域活性化を図る。
 - ① 共同展示、共同研修
 - ② 多言語による情報発信
 - ③ その他、地域活性化等に資する博物館の機能強化の取組（開館時間の延長、ユニークメニュー、アウトリーチ等）
 - (2) 持続的な博物館経営に関する先進事例調査
 - (3) ICOM京都大会に向けた普及啓発

●**支援内容** 対象事業（1）～（3）について委託事業を実施

●事業イメージ

博物館ネットワークによる未来へのレガシー継承・発信事業

（前年度予算額 23百万円）
30年度予定額 31百万円

2019年国際博物館会議（ICOM）京都大会、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に際しては、日本の魅力を国内外に発信することが求められているところ、訪日外国人をはじめとする来館者の増加に向け博物館の魅力向上を図るため、複数の博物館により構成されるコンソーシアムを中心とした共同展示や多言語による情報発信や学芸員の資質向上等の取組を進めるとともに、ICOM京都大会の開催を契機とした博物館・学芸員に対する理解促進・外部資金獲得など先進的な博物館経営の事例収集・普及の取組を進め、博物館の機能強化を図る。

○観光ビジョン実現プログラム2017（平成25年5月 観光立国推進閣僚会議）
『博物館ネットワークによる未来へのレガシー継承・事業』においても、観光振興に関する学芸員等の研修プログラムを実施する。』



○問い合わせ先：文部科学省 生涯学習政策局 社会教育課
電話 03-6734-2093